

アジア オーケストラ ウィーク 2025

Asia Orchestra Week 2025

香港フィルハーモニー管弦楽団

Hong Kong Philharmonic Orchestra

©Keith Hiro_HK Phil



指揮
リオ・クオクマン

Lio Kuokman, Conductor



ピアノ
反田恭平

Kyohci Sorita, Piano

突き進む新時代のアーティスト 反田恭平 &
新進気鋭 リオ・クオクマンのチャイコフスキー

PROGRAM

鄭展維: 疾如風、徐如林 (香港フィル委嘱、日本初演)
Charles Kwong: Festina lente (HK Phil commission, Japan premiere)

チャイコフスキー: ピアノ協奏曲 第1番 変ロ短調 作品23
Piotr Ilyich Tchaikovsky: Piano Concerto No.1 in B flat minor, op.23

チャイコフスキー: 交響曲 第5番 ホ短調 作品64
Piotr Ilyich Tchaikovsky: Symphony No.5 in E minor, op.64

2025. 10/14 火

7:00PM開演(6:15PM開場)

ミューザ川崎シンフォニーホール

〒212-8557 神奈川県川崎市幸区大宮町1310 TEL. 044-520-0100(代表)
<https://www.kawasaki-sym-hall.jp>

©Jane Chiang

©Yuji Ueno

2025年

7/28 月

10:00

一般発売開始!

チケット料金 (全席指定
消費税込)

A席 6,000円 B席 4,500円 ジュニア券(高校生以下) 1,000円

※小学生以上の方がご入場いただけます。 ※ジュニア券は全席種が対象です。
※車イスでのご来場をご希望の方は、ジャパン・アーツびあまでお電話でお問い合わせください。
※やむを得ない事情により、出演者・曲目等が変更となる場合があります。予めご了承ください。

チケットに関するお問い合わせ ジャパン・アーツびあ 0570-00-1212

プレイガイド

※日本オーケストラ連盟事務局でのチケット販売はございません。

ジャパン・アーツびあ 0570-00-1212 <https://japanarts.pia.jp>
ミューザ川崎シンフォニーホール 044-520-0200 (10:00~18:00)
チケットびあ <https://t.pia.jp> (Pコード:302-811)
e+(イープラス) <https://eplus.jp>
ローソンチケット <https://l-tike.com> (Lコード:31907)

香港フィルハーモニー管弦楽団

Hong Kong Philharmonic Orchestra

楽団の歴史は1947年に創設された中英管弦楽団に遡り、今ではアジアを代表するオーケストラのひとつとして高く評価されている。

1シーズン150回以上のコンサートを開催し、毎年20万人を超える音楽ファンたちを魅了している。現在はロン・ユーが首席客演指揮者、リオ・クオクマンが常任指揮者、ダニエレ・ガッティがアーティストティック・パートナーを務めている。また、タルモ・ベルトコスキが2025/26年シーズンに(次期)音楽監督に、2026/27年シーズンに音楽監督に就任予定。

2019年、イギリスの権威あるクラシック音楽誌「グラモフォン」からアジアのオーケストラとしては初めて「オーケストラ・オブ・ザ・イヤー」賞を受賞。創立50周年にあたる2023/24年シーズンには10か国22都市で公演を行った。香港および中国の作曲家に積極的に作品を委嘱しており、タン・ドゥンやブライト・シェンが自作を指揮した録音がナクソスからリリースされている。

<https://www.hkphil.org>



©Keith Hiro_HK Phil



©Keith Hiro_HK Phil

指揮 リオ・クオクマン Lio Kuokman, Conductor

香港フィルハーモニー管弦楽団常任指揮者、マカオ管弦楽団音楽監督兼首席指揮者、マカオ国際音楽祭プログラム・ディレクター、スロヴェニア放送交響楽団首席指揮者、関西フィルハーモニー管弦楽団アーティストティック・パートナー。第3回エフゲニー・スヴェトラノフ国際指揮者コンクールで第2位および聴衆賞とオーケストラ賞を受賞。フィラデルフィア管弦楽団で中国人として初の副指揮者となった。ウィーン交響楽団の定期演奏会、トゥールーズ・

キャピトル国立管弦楽団の初のサウジアラビア・ツアーの他、オペラ公演にも積極的に取り組んでおり、ワレリー・ゲルギエフの招きでマリインスキー劇場で客演指揮者を務めた。芸術文化の発展への貢献が評価され、香港、マカオ両政府から文化功績勲章が授与された。2022年第16回香港芸術発展賞の年間最優秀芸術家賞(音楽部門)を受賞。



©Yuji Ueno

ピアノ 反田恭平 Kyohei Sorita, Piano

2021年、第18回ショパン国際ピアノ・コンクールにて日本人では半世紀ぶり最高位となる第2位を受賞し、世界の注目を集めた。2016年のデビュー以降、幅広い聴衆を魅了し続けており、国内外のオーケストラとの共演回数はすでに300回以上に及ぶ。公演は各地完売が続き、最もチケットの取れないアーティストと称されている。

2021年には自身のオーケストラであるJapan National Orchestra (JNO) を株式会社化、またファンと音楽家を繋ぐ音楽サロン Solistiade を立ち上げた。現在は活動の拠点をウィーンへ移し、ヨーロッパ内はもちろん、カナダ、オーストラリア、アジアなど世界中で活躍の場を広げている。

2025年には、ザルツブルグ音楽祭史上初となる弾き振りで出演が決定している。

「アジア オーケストラ ウィーク」とは?

「文化庁芸術祭」は、1946(昭和21)年より開催され、今年で80回目を迎える、わが国で最も歴史と伝統ある芸術の祭典です。

アジア太平洋地域最大規模の「プロ・オーケストラによる国際フェスティバル」である「アジア オーケストラ ウィーク」は2002年にスタート。「文化庁芸術祭」の一環として過去22回の開催実績を誇り、国内外から高い評価を得ています。

これまでに、中国、韓国、香港、モンゴル、タイ、フィリピン、シンガポール、ベトナム、マレーシア、インドネシア、インド、スリランカ、トルコ、さらにはオセアニアのオーストラリア、ニュージーランドなど、16の国と地域から各国を代表するプロフェッショナル・オーケストラがのべ60団体以上参加し、各国の豊かな文化伝統に育まれた多彩な熱いサウンドをお届けしてまいりました。また、2011年に発生したクライストチャーチ地震(ニュージーランド)と東日本大震災を機に、日本国内のプロ・オーケストラも参加するようになり、2019年まで毎年被災地での合同演奏を行うなど、オーケストラ同士の密度の濃い相互交流が育まれてきました。

「アジア オーケストラ ウィーク」は単なる国際的なクラシック音楽イベントに留まらず、オーケストラという、大きな可能性に満ちた世界共通の文化装置(財産)によって、アジア太平洋地域に暮らす人々の相互理解や共感を促す未来志向の取り組みなのです。



クライストチャーチ交響楽団と
仙台フィルハーモニー管弦楽団の合同演奏会



香港シンフォニエッタによるアウトリーチコンサート
(2019年、福島県白河市立白河第一小学校)

日程

兵庫芸術文化センター管弦楽団 出演 出口大地(指揮) 小山実稚恵(ピアノ)

2025. 10/4(土) 3:00PM開演(2:15PM開場) @兵庫県立芸術文化センター
ラフマニノフ:ピアノ協奏曲 第2番 八短調 作品18
大栗 裕:大阪俗謡による幻想曲
ムソルグスキー(ラヴェル編):組曲「展覧会の絵」

香港フィルハーモニー管弦楽団 出演 リオ・クオクマン(指揮) 反田恭平(ピアノ)

2025. 10/13(月・祝) 3:00PM開演(2:15PM開場) @兵庫県立芸術文化センター
2025. 10/14(火) 7:00PM開演(6:15PM開場) @ミューザ川崎シンフォニーホール

シンポジウム「広がりゆくアジアのオーケストラ市場」

2025. 10/12(日) 10:00AM~12:00AM
@兵庫県立芸術文化センター

特設ウェブサイト

令和7年度(第80回)文化庁芸術祭主催公演
アジア オーケストラ ウィーク2025
<https://www.orchestra.or.jp/aow2025>

